

研究課題名：糖尿病ケトアシドーシスに対するインスリン治療後の低リン血症に関する研究

1. 研究の対象

2018年4月から2020年3月末日までに当院で糖尿病ケトアシドーシスと診断されインスリン治療を受けられた(受ける)方

2. 研究目的・方法

インスリン治療を必要とする糖尿病(特に1型糖尿病)の方の発病初期や、突然インスリン治療が中断された場合などの際、糖尿病ケトアシドーシスという重篤な病気を発症することがあります。この病気に対してはインスリン治療が必須となりますが、糖尿病ケトアシドーシスのインスリン治療中に血液中のリン(無機リン)濃度が低下し、意識障害・呼吸不全・心不全などの重篤な合併症が出現することがあります。しかしながら、その頻度やどのような患者さんが発症しやすいかなどについては明らかでなく、あまり重要視されていないのが現状です。

このことから我々は、糖尿病ケトアシドーシスで入院されインスリン治療を受けた患者さんの血液中のリン(無機リン)濃度の変化を調べることで、低リン血症の頻度や重症度を明らかとし、医学界に広く注意喚起することによって重篤な低リン血症による合併症で苦しむ患者さんを減らすことを目的として本研究を行なっています。

研究期間は2018年4月1日から2020年3月末日を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

氏名(イニシャルを含む)、生年月日、住所などの個人情報除いた上で、電子カルテに記載のある臨床経過、検査データ、治療内容等を利用する予定です。カルテ番号については、別途対応表を作成し研究期間中はデータ入力ミスなどの確認のためパスワードの入力が必要な電子ファイルに保管し、研究終了とともにデータ消去を行います。

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

横手 幸太郎	千葉大学医学部	糖尿病・代謝・内分泌内科	科長・教授
前澤 善朗	千葉大学医学部	糖尿病・代謝・内分泌内科	講師
金子 ひより	千葉大学大学院	医学研究院 細胞治療内科学	大学院生

山本 恭平	千葉市立青葉病院	病院長
番 典子	千葉市立青葉病院	糖尿病・代謝・内分泌内科 科長
河野 貴史	千葉市立青葉病院	糖尿病・代謝・内分泌内科 医長
佐藤 愛	千葉市立青葉病院	糖尿病・代謝・内分泌内科 医師

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

千葉県市川市国府台 6-1-14 TEL: 047-375-1111
国際医療福祉大学 市川病院 糖尿病・代謝・内分泌内科
研究責任者: 吉田 知彦

研究代表者:

国際医療福祉大学 市川病院 糖尿病・代謝・内分泌内科
吉田 知彦

-----以上